OUKA
The University of Osaka
Institutional Knowledge Archive

Title	日本語・日本文化 第34号 奥付
Author(s)	
Citation	日本語・日本文化. 2008, 34
Version Type	VoR
URL	https://hdl.handle.net/11094/21510
rights	本文データはCiNiiから複製したものである
Note	

The University of Osaka Institutional Knowledge Archive : OUKA

https://ir.library.osaka-u.ac.jp/

The University of Osaka

執筆者紹介（掲載順）

嶋本　隆光　　本センター教授
徐　　雨棻　　本学大学院博士後期課程
Harb, Hassan　　本学大学院博士後期課程
Munintarawong, Siriwon
本学大学院博士後期課程

編集後記

前号の本欄でも予告したとおり、2007年10月の統合で、本センターは大阪大学に所属することになり、担当プログラムの変更も行われました。また、「留学生30万人計画」を具体化するために、日本政府が留学生施策を暫時変更していくことも予想されています。本センターは新たな変革期を迎えようとしているのかも知れません。

そうした状況下にあって、本年も『日本語・日本文化』を刊行することができました。大阪大学所属後初の刊行となる本号には、イスラーム研究を手がかりに大川周明の思想を再検討した嶋本教授の巻頭論文のほか、本学大学院生の手による3本の研究論文も掲載されていますが、大学院生の中には、今回が初めての投稿となるものもいるようです。読者の皆様から忌憚なきご意見をお聞かせいただき、それを励みに、それら大学院生が一層の飛躍を遂げる場として、今後もこの『日本語・日本文化』が機能し続けることを願ってやみません。

『日本語・日本文化』投稿規定

1. 資格：本センター所属教員（非常勤を含む）及び『日本語・日本文化』編集委員会において適当と認められた者。
2. 内容：日本語・日本文化等に関する未発表の研究論文・研究ノート・研究報告等。
3. 体裁：研究論文は400字詰原稿用紙50枚前後（欧文はA4ダブルスペース30枚前後）、研究ノート・研究報告は25枚前後（欧文は15枚前後）。
4. 要旨：本文和文の場合、欧文による要旨（A4ダブルスペース1枚）を、欧文の場合は、和文による要旨（800字程度）を添付。
5. 採否：原稿の採否は『日本語・日本文化』編集委員会が決定。

編集委員

奥西　峻介　　加藤　均　　佐野　方郁

日本語・日本文化　第34号
2008年5月30日　発行
編　集　大阪大学
発　行　日本語日本文化教育センター
〒562-8558
箕面市粟生間谷東8-1-1
電話（072）730-5459
FAX（072）730-5074
印　刷　中西印刷株式会社